

CentreCOM® 8216FXL/SMSC リリースノート

この度は、CentreCOM 8216FXL/SMSCをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。


最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

なお、本製品付属のマニュアルは、「CentreCOM 8216FXL/SC」のものとなります。製品名を置き換えてお読みください。CentreCOM 8216FXL/SCと異なる点については本書に記載してあります。

1 ソフトウェアバージョン 2.2.1J


2 本バージョンでの制限事項

2.1 RMON 機能について

 「オペレーションマニュアル」2-16 ~ 2-17 ページ


RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

2.2 マルチキャストアドレスの追加 / 削除について

 「オペレーションマニュアル」2-101 ~ 2-104 ページ

[MAC Address Table] メニューの [Multicast address] において、[Add MAC address] および [Delete MAC address] オプションを使用したマルチキャストアドレスの追加、および削除は現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

2.3 1000BASE-X/1000BASE-Tアップリンクポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

2.4 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMPスヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。


2.5 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

2.6 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

2.7 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ


[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

2.8 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[Ethernet statistics] メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。

2.9 受信フレームの統計情報について

 「オペレーションマニュアル」2-12 ~ 13, 2-18 ~ 19 ページ


バックプレッシャー機能を有効にした場合、[Ethernet statistics] メニューの統計情報表示画面において、実際に受信したフレーム数よりも多い数が該当カウンターに表示されることがあります。

3 マニュアルの誤記訂正

3.1 メニューの変更


マニュアルに記載されているメニュー(オプション)に一部変更があります。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

3.1.1 ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)について

 「オペレーションマニュアル」2-22 ~ 2-25 ページ


[Administration] メニューの [Update software in another system] および [Broadcast updated software to all systems] オプションはメニューから削除されました。

3.1.2 ウェブからのソフトウェア設定について

 「オペレーションマニュアル」2-41 ~ 2-42 ページ


[System Configuration] メニューの [Omega Options] において、ウェブからのアクセス制限を設定する [Web-based Omega Enabled/Exclude Web-based Omega] オプションはメニューから削除されました。

3.1.3 ターミナル設定の Generic “dumb” terminal について


 「オペレーションマニュアル」1-14 ~ 1-15 ページ, 2-48 ページ


[System Configuration] メニューの [Terminal configuration] において、ターミナルの種類に合わせてソフトウェアを設定する [VT100-compatible/ANSI Generic “dumb” terminal] オプションはメニューから削除されました。これにより、本製品のターミナル設定はVT100-compatible/ANSIのみとなります。

3.2 VLAN 最大設定数について


 「オペレーションマニュアル」2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。


 2,047 個


 254 個

3.3 最大トランキンググループ数について

 「追加機能マニュアル(PN J613-M0512-00 Rev.C)」34 ページ

「トランキンググループの複数設定」の最大トランキンググループ数の表において、1000M[拡張モジュール] の数に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。


 [2] (2 グループ)

 [1] (1 グループ)

4 本製品の仕様

本製品は、シングルモードファイバー対応の100BASE-FXポートを16ポート装備しています。マルチモードファイバー対応のCentreCOM 8216FXL/SCと異なる仕様、および本製品の機器仕様について説明します。

4.1 ケーブル仕様

 「ハードウェア設置マニュアル」1-4, 3-4, 3-11 ページ

ケーブルはシングルモードの光ファイバーケーブルで、コア/クラッド径が9.5/125 μ mのものを使用してください。最大ケーブル長は、通信モードがFull duplexの場合は15km、Half duplexの場合は412mとなります。

適用ファイバー	9.5/125 μ mシングルモードファイバー
伝送距離	0m ~ 15km
伝送損失	0.5dB/km以下

ITU-T G.652 適用ファイバー


4.2 コネクター仕様

 「ハードウェア設置マニュアル」 3-11 ページ

100BASE-FX インターフェース
2 連 SC コネクターを使用しています。

項目	100BASE-FXインターフェース
波長	1310nm
送信光パワー	-15.0dBm~-8.0dBm
受光感度	-28.0dBm以下

4.3 機器仕様

 「ハードウェア設置マニュアル」 3-12 ページ

電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90V~255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	4.0A (AC100V-120V)
平均消費電力 (拡張モジュール未装着時)	60W (最大64W)
平均発熱量 (拡張モジュール未装着時)	52kcal/h (最大55kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20~60
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
動作時温度	0~40
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	440(W) X 357(D) X 66(H)mm
重量	
	約6.5kg
MACアドレス登録数	
	8,000個 (最大)
メモリー容量	
拡張モジュール未装着時	8MByte
適用規格	
EMI規格	VCCIクラスA
サポートするMIB	
MIB II (RFC 1213)	
イーサネットMIB (RFC 1643)	
ブリッジMIB (RFC 1493)	
インターフェース拡張グループMIB (RFC 1573)	
プライベートMIB	